

第三中だより



いちよう

令和8年4月8日

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田 1-1-1

TEL(048)479-4052



目指す学校像 生徒一人一人の力が伸びる学校

卯月 一期一会 ～入学・進級おめでとうございます～ 校長 近藤 章宏

新しい1年が始まりました

桜の開花時期が年々早まる中で、始業式、入学式まで桜の花が待っていてくれました。校庭では桜の花びらが舞い、木々の葉が芽吹く中で、元気な子供達を迎えています。



お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本日、260名の新入生が入学し、2年生257名、3年生253名、生徒数770名、特別支援学級を含む計26学級で、令和8年度が始まりました。本年度より国の学級編制基準の改正が行われ、1年生からは40人学級編制から35人学級編制となりました。このことに伴い1年生は30年ぶりの8学級です。来年度以降も順次1年生は基準の改正が行われてまいりますので、今後教室の配置等も工夫が必要になってまいります。実際に本年度は余裕教室の関係で2年生が昨年度に引き続き4階、1年生が3階、3年生が2階での教室配置となります。

新しい中学校生活への夢や希望が満ち溢れた新入生。2,3年生も一つずつ学年が進級し、それぞれの学年の役割に責任を感じ、緊張した中にも意気込みが感じられます。一人一人の生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、また様々な経験を通して大きく成長できるよう、全教職員で取り組んでまいります。

新年度にあたり

教職員も年度当初人事異動により、新たな体制でスタートいたしました。詳細は裏面をご覧ください。年度当初に、校長として教職員に本年度の取組方針及び学校経営の視点を以下のように伝えました。

現代の急速な社会変化や多様化する価値観の中で、生徒が自ら学び、未来を主体的に切り拓く力の育成が一層求められている。本校は、安心して挑戦できる教育環境を整え、確かな学力と豊かな心を育む学校づくりを進めていく。

4つの経営の視点

- ① 生徒 生徒一人一人を大切に、生徒のもつ力を伸ばす教育活動を充実させる
<認める、褒める、励ます>
- ② 教職員 同僚性(チーム第三中)を高め、学校の教育力を高める<リスペクト>
- ③ 保護者 生徒を真ん中にして、保護者と連携し、願いに寄り添う。<サポート>
- ④ 地域 地域を愛し、連携した教育活動を展開する。<コミュニティ>

入学式

4月8日の始業式の後に、入学式に向けた準備を2・3年生の在校生が行ってくれました。2年生は校舎内の清掃や1年生の教室の整備ををテキパキ進め、春休み中にたまった埃もきれいに取り払ってくれました。3年生は会場づくりを担当し、椅子ならべ、紅白幕の設営など、とてもすばやい行動ができていました。両学年ともに自分の仕事が終わると他の人の手伝いを自発的に行う様子が見られ、とても頼もしい在校生です。最高学年の3年生が学校全体をリードし、進級した2年生と共に1年生を温かく迎えてくれることでしょう。



入学式では新入生に向けて中学校を意識してもらうように、次のような講話を行いました。

これからの三年間、私は皆さんに繰り返し言う言葉があります。それは、「中学校は大人になるための学校」という言葉です。体つきだけ大きくなった人のことを大人とは言いません。大人とは、自分のことは自分でできる人のことを言います。また、自分のために、人のために何をすべきかが分かっている人のことを言います。大人になるために、とくに中学校の三年間で必ず身に付けておいてほしいことがこれから話す四つのことです。それが「礼儀」「人から信頼される人柄」「健康な身体」「教養と判断力」の四つです。

新入生だけでなく、在校生も「大人になるため」に新しく目標を立て、取り組んでいって欲しいと思います。本年度も保護者・地域の皆様からのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

